

- 重点的かつ効果的にサイバーセキュリティに対する取組を推進するため、2010年より、毎年2月1日から3月18日を「サイバーセキュリティ月間」に設定。各種啓発主体と連携し、サイバーセキュリティに関する**普及啓発**活動を集中的に実施。
- 「**サイバーセキュリティは全員参加**」をキャッチフレーズに、若年層に認知度の高いコンテンツとタイアップしつつ、SNSにおいてインフルエンサーを起用すること等により、**インターネットを介して全国へサイバーセキュリティ月間を伝播**させつつ、サイバーセキュリティに対する関心を高めていただく。

## 今年度実施予定の主な取組

### 認知度の高いコンテンツとのタイアップ

- ・『ソードアート・オンライン-アリシゼーション-War of Underworld』とタイアップし、若年層やサイバーセキュリティに関心の薄い層等を含む幅広い層にサイバーセキュリティに対する関心を高めていただく。
- ・サイバーセキュリティ月間のポスターやWebバナーを産学官民で連携して掲載し、サイバーセキュリティ月間をより多くの国民に知っていただくきっかけをつくる。

### 情報発信の強化

- ・ **官房長官トップメッセージ**を発信。
- ・ NISCや関係機関のSNSアカウント等において「**#サイバーセキュリティは全員参加**」をつけた情報発信。
- ・ NISCのWebサイトで、有識者による週替わりコラム「**サイバーセキュリティ ひとつと言いたい!**」を発信。
- ・ 各種啓発主体の実施する行事を**サイバーセキュリティ月間関連行事**（2020年1月下旬時点で150件）と位置付け、NISCのWebサイトやSNSで案内を行う。
- ・ SNSで**10代を中心に多くのフォロワーを抱えるインフルエンサー**を起用し、サイバーセキュリティを啓発する投稿を行うことで、サイバーセキュリティに関心の薄い層にもサイバーセキュリティに対する関心を高めていただく。

### イベント・行事の開催

- ・ **NISC-CTF（2020年2月19日）**〔CTF：Capture The Flag、セキュリティ技術の競技〕  
各府省庁・独法等の職員がサイバーセキュリティに関する幅広い技術・能力を競う競技会を開催。
- ・ **NISC主催イベントの開催（2020年3月8日）**  
秋葉原駅周辺にて、ステージや展示、来場者参加型イベントを行い、サイバーセキュリティへの意識・理解の醸成を図る。



『ソードアート・オンライン-アリシゼーション-War of Underworld』

サイバー空間を舞台に、主人公・キリトと仲間たちが、敵の侵攻から仮想世界《Underworld》を守るために立ち上がる物語。若年層のファンを中心に支持を誇る。2020年4月より2ndクールが放送予定。

・『ソードアート・オンライン』シリーズは川原 礫氏による小説作品で、2009年4月の第1巻発売以来、累計発行部数は国内1500万部、全世界で2200万部を突破。  
・今回の仮想世界《Underworld》は、AIが人間と同様に育っていく世界を表現している。